

日本農業労災学会 Newsletter

第18号(No.18) 2024年9月1日発行

●発行：日本農業労災学会事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル4F

株式会社農林水産広報センター内

TEL 03-6380-8955/FAX 03-3239-7344

E-mail rosai@norinsuisan.co.jp

ホームページ：<http://jfapr.jp/>

会員各位

日本農業労災学会

会 長

田島 淳

第11回大会実行委員長 半杭 真一

2024年度（第11回）日本農業労災学会主催 大会シンポジウムの開催について

平素より学会活動につきましては、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り第11回大会シンポジウムを対面とオンラインのハイブリッドで開催いたしますのでご案内申し上げます。

つきましては、本大会シンポジウムに是非とも多くの会員の皆様にご参加いただけますようお願い申し上げます。

記

I 第11回大会シンポジウムの概要

1. 開催日時：2024年10月25日（金）10:00～19:00

2. 会 場：ハイブリッド開催

（東京農業大学世田谷キャンパス 横井講堂+Zoomによるオンライン）

※交流会は「レストランすずしろ」を予定。

3. 大会概要：

10:00～11:00 個別報告

11:00～11:40 第4回学会賞表彰式

13:00～17:15 シンポジウム

17:30～19:00 交流会

4. 主催団体：日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会 3 研究部会
(労災対策研究部会・就農者推進教育研究部会・農業協同組合研究部会)
5. 後援団体：JA 全国組織、JA 単協等
6. シンポジウムの統一テーマ『農作業事故防止技術・方策の社会実装へのチャレンジ』
7. シンポジウムの開催趣旨

農作業事故防止に関わる現在の政策の体系、農作業事故防止技術の開發現状とその具体的な社会実装の現状を知るとともに、そうした政策や技術を現場の農家に普及して事故ゼロを目指す活動を実践している関係者の取り組みを紹介する。また、そうした事故ゼロを目指す活動の更なる効果的な展開方向について、意見交換を行う。

8. プログラム

- 13:00～13:10 開会挨拶
- 13:15～14:15 基調講演 (2名)
- 14:25～15:45 講演 (4名)
- 15:55～16:25 コメント (4名)
- 16:25～17:15 総合討議

※詳細は下記の開催要領をご参照ください。

II 大会への参加申し込み・参加費などの支払い方法

1. 参加費等

- (1) 大会参加費：2,000 円 (対面・オンライン共通)
ただし、対面参加の場合には報告要旨集を含む (開催当日配布)。
- (2) 不参加のため報告要旨集の送付を希望、資料代：1,500 円 (送料込)
- (3) 交流会費：3,500 円

2. 参加申し込み方法

- (1) 申し込み先と申し込み期限

1) 大会シンポジウム参加等の申し込み

大会シンポジウムへの参加をご希望の方は、9月30日(月)までに下記の Google フォームからお申し込みください。大会不参加で報告要旨集の送付を希望する場合も同様です。

<https://forms.gle/QqqPg7BfETbZmfWUA>

2) 個別報告の申し込み

個別報告は対面でもオンラインでも可能です。ご希望の方は、9月30日(月)までに先の Google フォームから申し込んでください。

報告希望者は、個別報告要旨を作成のうえ、9月30日(月)必着で、学会事務局(1ページ扉参照)並びに下記の半杭真一大会実行委員長宛(E-mail: sh206187@nodai.ac.jp)とcc:で北田紀久雄宛(E-mail kitada@nodai.ac.jp)にお申し込みください。個別報告要旨は、A4判1ページにMS-Wordで作成し、1行目に報告題目、2行目に報告者名(所属)、1行空けて4行目から報告内容を1000字程度で記載してください。

個別研究報告の発表時間は15分、質疑応答が10分を予定しています。ただし、報告数の関係で時間を短縮する場合がありますので、ご了承ください。

(2) 大会参加費等の送金

大会参加費（交流会費、不参加の場合の資料代を含む）等は、ゆうちょ銀行（郵便局）より払込取扱票を入手の上、それを用いて次の学会振替口座宛に10月15日（火）までに送金してください。

口座記号・口座番号 00150-3-360213

加入者名 日本農業労災学会

※送金に当たり、払込取扱票の通信欄に以下の点を記載してください。

2024年度（第11回）日本農業労災学会大会参加費の送金

送金の内訳を記載、例えば「大会参加費 2,000円 交流会 3,500円 合計 5,500円」等

3. 開催までの主なプロセス

(1) 大会参加申し込み並びに大会参加費等の入金確認後、10月15日（火）頃より、参加申込者にメールにてZoom接続のためのURLや報告要旨のダウンロード情報等をご案内いたします。各自ダウンロードしてご利用ください。さらに、対面参加者には大会当日受付にて報告要旨集を配布いたします。

(2) 大会不参加で報告要旨集の送付を申し込まれた方には、10月28日（月）以降に学会事務局より郵送させていただきます。

III 大会事務局、問合せ先

本シンポジウムについての問合せは、下記までお願いいたします。

●大会実行委員長 東京農業大学国際食料情報学部アグリビジネス学科 教授 半杭 真一

TEL 03-5477-2771 E-mail sh206187@nodai.ac.jp

●常任理事 北田紀久雄 TEL 090-4957-2039 E-mail kitada@nodai.ac.jp

●学会事務局 1ページの扉参照

以上

日本農業労災学会第11回シンポジウム開催要領

テーマ

農作業事故防止技術・方策の社会実装へのチャレンジ

シンポジウム趣旨

農作業事故防止に関わる現在の政策の体系、農作業事故防止技術の開発現状とその具体的な社会実装の現状を知るとともに、そうした政策や技術を現場の農家に普及して事故ゼロを目指す活動を実践している関係者の取り組みを紹介する。また、そうした事故ゼロを目指す活動の更なる効果的な展開方向について、意見交換を行う。

挨拶 13:00～13:10

学会長、東京農業大学長

基調講演1 13:15～13:45 (30分)

農作業安全対策の推進について

土佐 竜一 (農林水産省 農産局技術普及課生産資材対策室長)

*農水省による事故ゼロを目指す政策の体系的な整備状況とその効果、さらには今後の農作業安全対策の今後の展開方向について紹介してもらう。

基調講演2 13:45～14:15 (30分)

農研機構における事故ゼロに向けた農作業安全システムの技術開発と社会実装の取組

富田 宗樹 (農業・食品産業技術総合研究機構 農業機械研究部門

システム安全工学研究領域長)

*VRを活用した農作業安全啓発システム、トラクタ安全フレーム開発、トラクタの危険挙動の検知システム、遠隔監視ロボット開発、農作業用アシストスーツなどの開発現状と社会実装の取り組みを紹介してもらう。

休憩 14:15～14:25

講演1 14:25～14:45 (20分)

農作業事故と労働安全衛生対策—新しい動き—

氣多 正 (一般社団法人日本農業機械化協会技術顧問)

講演2 14:45～15:05 (20分)

事故事例・事故防止 14のキーワード

齊藤 総幸 (一般社団法人全国農業改良普及支援協会 普及参事兼情報部長)

講演3 15:05～15:25 (20分)

共済金支払データに基づく農作業事故の発生状況の分析と農作業事故体験 VR を活用した
事故防止対策

和泉 崇之 (JA共済連 全国本部 農業・地域活動支援部次長(兼) 地域貢献運営G課長)

講演4 15:25～15:45 (20分)

労災保険(一般労災)の加入促進ー課題と関係機関との連携ー

福田 哲夫 (福田社会保険労務士事務所 所長)

休憩 15:45～15:55

コメント(15:55～16:25 各人10分)

井関農機株式会社移植技術部Aチーム

岡田 卓也

株式会社日本農業新聞論説委員室論説委員長

鈴木 祐子

JA全中 営農・担い手支援部営農企画課考査役

石澤 哲

総合討議 16:25～17:15 (50分)

司会：門間 敏幸

安江 紘幸